

第13回大阪小児在宅医療を考える会

～医療的ケア児支援法で変わる重症児の在宅支援～

会期:2023年1月22日(日)13時～16時15分

形式:ハイブリッド開催(事前登録制)

会場:大阪市立総合医療センター さくらホール(大阪市都島区都島本通2-13-22)

対象:医療・福祉・教育関係者 会費:無料 定員:現地参加 100名 WEB参加 500名

会長:濱崎考史(大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学 教授)

参加は事前申し込み制です。

右のQRコードを読み込んで必要事項を入力してください。



WEB参加用



現地参加用

プログラム

開会挨拶:大阪府医師会 副会長 中尾 正俊

第一部 13時～14時30分

『医療的ケア児支援センター設置で変わる重症児支援』

座長:大阪発達総合療育センター 船戸正久 / 四天王寺和らぎ苑 塩川智司

- 1, 宮城県の取り組み 遠山 裕湖 宮城県医療的ケア児等相談支援センター
- 2, 三重県の取り組み 岩本 彰太郎 三重大学・県医療的ケア児・者相談支援センター
- 3, 大阪府の取り組み 位田 忍 大阪母子医療センター臨床検査科
- 4, 総合討論

第二部 14時45分～16時15分

『地域で医療的ケア児を支援する専門職をどのように教育するか』

座長:国立成育医療研究センター緩和ケア科 余谷暢之

- 1, 保育園・幼稚園・認定こども園に対する教育の実践
村井みのり 茨木市こども育成部保育幼稚園総務課
- 2, 学校看護師に対する教育の実践 清水史恵 京都看護大学看護学部
- 3, 特別支援学校における教育の実践 川並しのぶ 大阪府岸和田支援学校
- 4, 大学における教育の実践 濱崎考史 大阪公立大学発達小児医学
- 5, 地域・多職種連携についての教育の実践 余谷暢之 国立成育医療研究センター
- 6, 総合討論

閉会挨拶:大阪府看護協会 会長 弘川摩子

お問い合わせ

大阪母子医療センター内患者支援センター
TEL:0725-55-3113
E-Mail:kangaeru@wch.opho.jp

本会は「母と子のすこやか基金」の
助成を受けております



OsakaMetro谷町線都島駅 2番出口から徒歩3分
JR環状線桜ノ宮駅 東出口から徒歩7分

主催:大阪小児在宅医療連携協議会 代表:望月成隆(大阪母子医療センター新生児科)

後援:大阪府医師会、大阪府看護協会、大阪小児科医会、大阪府訪問看護ステーション協会、大阪府